

キャラクター名  
清水 夕映(きよみ・ゆえ)

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ		ワークス	UGNエージェントD	カヴァー	
	ブラックドッグ					
オプション			年齢	19	性別	女
覚醒	無知	衝動	憎悪	初期侵食率	40	%
出自	天涯孤独	経験	実験体	邂逅	慕情/側崎教吾	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	4	0	0			4	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	0	1	0			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	11	10	射撃			RC	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	3		調達	2	
運転:			芸術:			知識:ゲナリウ+4		4	情報:UGNゲナリウ+4	1	4
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
調和者	P	N		
両親	P 慕情	N 無関心		
側崎教吾	P 慕情	N 偏愛		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ハードワイヤード<->	7	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	専用アイテムLV個常備化.基+4 バトルニューバ*5、データブレイン*2							
サイバーアーム<->	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	素手データ変更.基+3 攻+[LV+3].G値5							
磁力結界<->	5	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	ガード時宣言.G値+LVD.							
マグネットフォース<->	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	ゲナ直前宣言.行動消費なしでガードリングする。MP1回。							
オーバーウォッチ<->	1	4	セットアップ	至近	範囲選択	自動	-	
効果:	R間対象のXジャー判定ゲイス+3。汎LV回。							
アンテナモジュール<->	1	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	記録媒体の読み込み・書き込み							
小さき密偵<->	1	1	Xジャー	-	-	自動	-	
効果:	ドロップで探索							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

2022/01/09 HG1話    Yellows on the Memory    PC2  
2022/01/15 HG2話

◆ハンドアウト  
<共通>  
キミたちは11年前に凍結された「プロジェクト・アダムカドモン(上級p.78)」によって生まれた元実験体の数少ない生き残りだ。キミたちが生み出されたのは「調和のためのオーヴァード訓練育成計画」、通称「ハルモニアス・グリーン計画」——しかしこの計画も例に漏れず、プロジェクト・アダムカドモン終盤には暴走の岐路を辿ることとなった。優しかった研究員たちは欲望に吞まれ、手を取り合った友人たちは悲痛の叫びの中にすり潰されてゆく。UGN職員の目の届かぬ暗闇で葬られようとしていた矢先、計画は終焉を告げ、キミたちは解放された。  
今日は計画が終了しキミたちが保護されてからちょうど11年。毎年そうしているように、キミたちは仲間たちの弔いのため実験施設跡を訪れる。その時のことだった、実験施設で子供たちの「親」のような存在であった側崎教吾がFHに拉致されたとの知らせが入ったのは——

<PC②>  
ワークス/カヴァー: UGNエージェント/指定なし  
シナリオロイス: 抱き取る水辺"エンドレーター"側崎教吾(かわさき-きょうご)  
推奨感情P/N: 信頼/食糧  
指定Dロイス: 調和者  
キミは現UGNエージェントである。  
実験体であった11年前、能力が暴走したPC①をキミは自身の力「調和者」によって止めた。その事実を当時の「ハルモニアス・グリーン計画」研究室長である側崎教吾は高く評価し、キミは実の親のように可愛がられていた。  
その息子の未鳥から、「今年もあの場所に行こう」と誘いを受ける。様々な思いを抱きながらもキミは、あの場所へ向かうことにした。